



Vipuvoimaa
EU:lta
2014-2020



LAPIN LIITTO

Pallas-Yllästunturi (パッラス・ユッラストゥントゥリ) 国立公園

概要

フィンランドで最も古く、最も人気のある国立公園を探検しましょう。そこは、ラップランドにあるパッラス・ユッラストゥントゥリ国立公園の壮大な自然のままの高原地帯にあります。ここは、かつて山と同じ高さであった古い時代からの曲線的な高原地帯であり、今もなおスケールが大きく、ドラマチックな場所です。高さはさほどありませんが、自然のままの素晴らしさがそれを補っています。この日帰りハイキングとノルディックスキーの楽園では、今も自然がルールを決めています。世界で最も澄んだ空気と水に恵まれた荒野の平穏と静寂は、息を飲むような 360 度の眺望であなたを魅了します。自分のペースとリズムで動きたくくなるような不思議な場所です。日常生活の喧噪などあつという間に忘れることでしょう。

自然

硬質の珪岩の高原地帯は、かつてはアルプスと同じ高さの山脈で、30 億年前の Svekokarelid の名残です。何千年もの氷河期の間に徐々に削られ、現在のように緩やかに丸みを帯びたトラバースしやすい高原地帯になりました。ここは移行帯でもあり、トウヒのような南部の植物種はここが北限です。さらに北で繁殖する多くの動植物もここに住んでいます。クマとヘラジカは、老齡樹とタイガの原生林、そしてアーパ湿原に生息しています。冬には、雪のように白いカラフトライチョウの鳴き声が静けさの中に響きます。早春、国立公園の公式マスコットであるユキホオジロが、岩だらけの山の上にある巣に戻ります。この国立公園は、西ラップランド特有の数々の鳥類や動植物を保護する場所となっています。

アクティビティ

パッラス・ユッラストゥントゥリは季節とともに劇的に変化します。夏には、太陽が沈むことのない驚きの夜に、フィンランドで最も古く、最も有名なハイキングエリアの 1 つで、標識の付いた標高 500 km のトレイルをトレッキングできます。または、山の樺の木、低木、地被植物が黄色、赤、オレンジの壮観な色合いに変わる秋のハイキングもおすすめです。冬には、約 500 km のスキートラックでクロスカントリーを楽しみ、人生を変えるような北極光が現れ、高原地帯を横切るように踊る色鮮やかなオーロラをご覧ください。年間を通して、休憩施設として利用できる日帰り旅行用の小屋が利用できます。公園内では、マウンテンバイク、冬のファットバイク、スノーシューを楽しむ機会も豊富にあります。

トレイル

パッラス・ユッラストゥントゥリ国立公園は日帰りハイキングに最適です。ここで、いくつか厳選したコースをご紹介します。少々体力がいる全長 8 km の Taivaskeronkierros サークルトレイルは、公園で最も高い山へと通じています。全長 100 km ある高原地帯の真ん中には Taivaskero Fell の山頂があり、手つかずの荒野の素晴らしい 360 度の眺望が楽しめます。小さなお子様連れのご家族に最適な全長 3 km の Varkaankurunpolku ネイチャートレイルは、ダッグボードを敷いた珍しい緑のオアシスに通じています。保護されている溪谷は、この緯度ではまれな多種多様な植物にとって理想的な環境を作り出しています。1934 年に初めてオープンした、よく整備された全長 50 km の Hetta-Pallas ハイキングトレイルは、フィンランドのトレッカーにとってフィンラン



Vipuvoimaa
EU:lta
2014–2020



LAPIN LIITTO

ドで最も古く、通過儀礼的なコースとなっています。この有名なトレイルは、高原地帯の中心を通り抜け、樹木のない頂上から頂上へと、その初めから終わりまで素晴らしい眺めを楽しめます。

文化

何千年もの間、先住民のサーミ人はトナカイの群れを追い、この土地で生計を立てていました。かなり時代を下って、フィンランド人は豊かな狩猟場と漁場を利用するために、この地域を訪れるようになりました。彼らの一部はこの地域にとどまり、小さなコミュニティを作ることになりました。多くの人々が、この独特な高原地帯とその多様な自然を保護することの価値に気づきました。国立公園の建設計画は 1910 年に始まり、1938 年によりやく実現しました。観光客の急増に対応するため、この小さなラップランド村にこじんまりしたホテルやゲストハウスが軒を連ねだすと、この地域はすぐにハイキングやスキークラブの人気の目的地となりました。2005 年には、すぐ近く of 自然保護区が国立公園に加えられて広さが 2 倍になり、さらに貴重な高原の自然が保護されています。